

部課長のための方針管理・日常管理セミナー

— (一社) 日本品質管理学会 新規格準拠 —

TQMにおけるコアツールである方針管理・日常管理を有効に運用するためのノウハウを習得いただけるコースです。方針管理は日常管理のベースのうえで、はじめてその効果をいかんなく発揮しますが、そのためには、それぞれの特徴と違いを理解し、切り分けて運用されなければなりません。

方針管理・日常管理について「社内での推進・定着について学びたい」「より効果的な実施・活用法を学びたい」という方にお勧めです。講義と演習を交えたカリキュラムにより、知識と実践の両面から学んでいただけます。

対象

対象階層：課長～役員 / 対象部門：全般

特徴

- ・(一社) 日本品質管理学会で新たに制定された「日常管理の指針」「方針管理の指針」に準拠したコースです。
- ・方針管理と日常管理の使い分けを正しく理解できます。
- ・TQMを効果的に進めるうえでの方針管理・日常管理の重要性が理解できます。
- ・講師のこれまでの指導経験から、正しく運用できている企業の事例、誤った運用をしている企業の事例を交え、実務的な講義を行います。
- ・他企業の方々と演習を通して情報交換がはかれます。

カリキュラム

| 1 日目 (9:20 ~ 17:00) | 2 日目 (9:30 ~ 17:00) |
|--|--|
| 日常管理と方針管理 そのTQMにおける位置づけ 日常管理の基本 日常管理の進め方 ※時間内演習、宿題を含む | 方針管理の基本 方針管理のプロセス 部門における方針管理の進め方 方針管理の実施とその管理 組織全体の方針管理の進め方 方針管理の推進 |

日程・受講方法

| | | |
|-----|-------------------------|-------|
| 第1回 | 2023年 7月26日(水) ~ 27日(木) | ライブ配信 |
| 第2回 | 2023年 10月 5日(木) ~ 6日(金) | ライブ配信 |
| 第3回 | 2024年 2月15日(木) ~ 16日(金) | ライブ配信 |

参加費

一般：93,170円 / 会員：84,700円 ※税込み

指導講師

企業での実践経験や企業への指導経験が豊富な講師陣が指導にあたります。

参加者の声

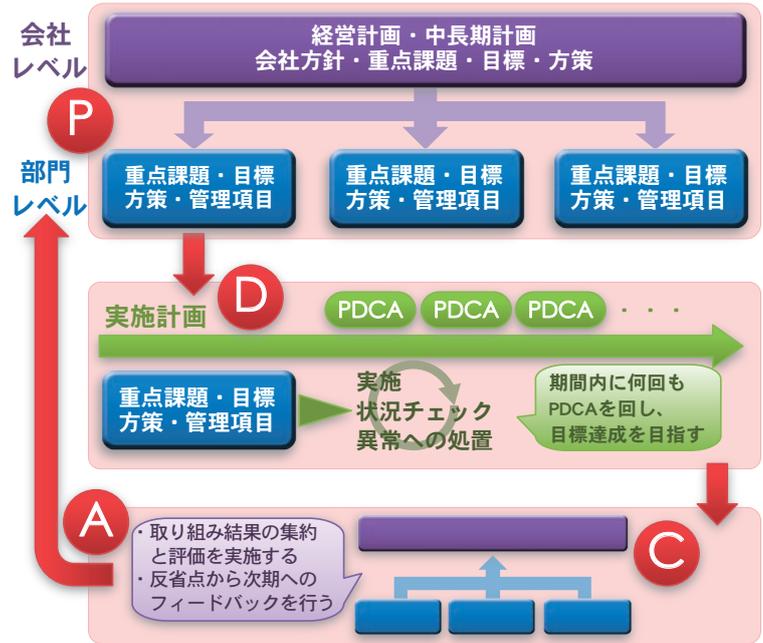
- 日常管理と方針管理の相違点や基本的な考え方の理解を深めることができた。
- TQMの推進を進めるための方針管理、日常管理のありかたについてとても良くわかった。
- 社内に日常管理と方針管理の考え方が浸透していないので、管理職は受けるべきだと感じた。
- 一流の講師から方針管理・日常管理を学ぶうえで、これ以上のセミナーはない。

目標達成のための実践的マネジメント

方針管理は以下のような特徴を持っています。

- ①経営目標の展開と具体化
- ②現場業務の明確化
- ③業務レベルのPDCA
- ④上司と部下の業務目線を合わせるコミュニケーションツール
- ⑤振り返りによるマネージャーの育成
- ⑥全社レベルのPDCA

これにより、目標達成だけでなく、現場業務の明確化や、部門内のコミュニケーションの円滑化、マネージャーの自己成長などをはかることができます。



方針管理 自己診断チェック表

1. 方針管理を適切に導入・推進していますか？

- 方針管理を進めようとしても、面倒くさいと言ってやりたがらない人がいる
- 方針管理が単独で扱われ、改善活動や日常管理と関連づけられていない
- 方針管理のしくみ・進め方が昔から変わっておらず、特に改善点が見えない
- マンネリ化しているという陰の声がアチコチから聞こえてくる
- フォーマットなどの形は整っているが、方針の中身が希薄で形式のみ先行している

2. 方針管理について、適切な普及・教育を行っていますか？

- 新任マネージャーに対する方針管理教育を特に行っていない
- 各マネージャーに対し「方針管理を適切に進めているか」など、反省させることはない
- 方針管理も目標管理も似たようなものだと思われる

3. 方針管理のしくみを適切に運用していますか？

- 経営ビジョン、中期経営計画、年度会社方針の関係が適切に連動して展開されていない
- 方針を展開する際に、目標だけが降りてきて、方策には触れられていない
- 上位の目標が、何も変わらずそのまま下にスライドしてくる
- 重点課題を設定していない
- 管理項目=目標項目と考えられている
- 方策系の管理項目（方策を実施する際の評価基準）が設定されていない
- 実施計画があいまいで5W1Hが明確になっていない
- 進捗状況が定期的に確認されない
- 上位者の関心が薄く、進捗状況をチェックしない
- 目標値の達成状況は見られるが、方策の内容についてはあまり気にされない
- 達成状況について計画と実績にずれがあっても、特に処置は取られない
- 目標が未達の場合でもその年限りの話になってしまい、特に未達原因や重点施策の検証を行って次期に活かすようなことはない
- 結果ばかり見て、プロセスはあまり気にされない

4. 方針管理の成果は出ていますか？

- 成果以前に、目標を設定しても活動が放置され、その結果も確認されていない
- 目標が厳しすぎて現実的ではなく、目標達成に至らない
- 目標自体がそこそこのレベルで止まっているため、成果もあまり期待できない

【チェック表の使い方】

自社の実態に当てはまるチェック項目にシ点を付け、その数をカウントしてください。

< 1 ~ 4 個 >

多少問題がありますが、概ね順調と言えます。とりあえず、チェックの入った問題点を見直しましょう。

< 5 ~ 9 個 >

問題が表面化し、方針管理の運営に支障が生じていませんか？早急に原因を調べて全体的な対策を打つことをお勧めします。

< 10 ~ 15 個 >

かなり問題が多いようです。もう一度、方針管理のしくみから見直すことをお勧めします。

< 16 個以上 >

かなり深刻な状況と思われます。根本から見直す必要があります。

～ Web ページからお申込みいただけます～

- 日科技連ホームページ <http://www.juse.or.jp/>
- セミナーサイト <http://www.juse.or.jp/src/seminar/>
- セミナー・事業検索からキーワード検索またはカテゴリーを選択し、ご希望のセミナーをお選びください。
- 各セミナー詳細ページの日程表から、申込みフォームへアクセスできます。
- 申込みフォームからお申込み後、セミナー受付より自動返信メールが届きます。
- Web からのお申込みが難しい場合は、下記項目を受付宛へ E-mail にてお送りください。



メールタイトル：日科技連セミナー申込み / 受付 E-mail : regist@juse.or.jp

- ① セミナー名：第●回 ●●●●●セミナー
- ② 開催初日：●月●日
- ③ 連絡担当者の氏名、所属、役職と連絡先（住所、TEL、FAX、E-mail）
- ④ 参加者名（ふりがな）
- ⑤ 参加者の会社名、所属、役職
- ⑥ 参加者の連絡先（住所、TEL、FAX、E-mail）
- ⑦ 【ライブ配信セミナーのみ】参加者への講義資料の配送先（会社またはご自宅）

～お申込み受付から受講まで～

- 開催の約1ヵ月～3週間前に「開催のご案内」などの必要書類を連絡担当者様へ送付いたします。
- お支払いについての詳細は、請求書に記載しておりますが、原則として請求書発行後2ヵ月以内に請求書に記載の指定口座へお振込みください。
- ライブ配信セミナーの講義資料は、開催の7営業日前に配送いたします。
- セミナーによっては同業他社からのご参加はお断りする場合があります。
- キャンセルと振替受講の取り扱いについては、p.42 をご参照ください。
- お申込み、参加にあたっての注意事項は web ページにてご案内しております。
<http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/jusesanka>

【セミナー申込み・振替・キャンセルに関する連絡先】

日本科学技術連盟 セミナー受付 TEL：03-5378-1222 E-mail：regist@juse.or.jp

※平日 9：00～17：00 の対応となります。

※現在テレワークの併用を行っております。電話がつかない場合は E-mail でご連絡ください。

※土曜・日曜・祝日および夏季／年末年始休暇などの連絡は受付していません。

キャンセルと振替受講の取り扱いについて

キャンセルの取り扱いについて

- セミナーをお申込みいただいた後、止むを得ない事由により参加者の都合が悪くなった場合には、恐縮でございますが、できるだけ代理の方のご参加をお願い申し上げます（セミナー開催途中の参加者の変更は不可）。
- セミナーの参加をキャンセルする場合には、セミナー受付に電話、Eメールにて事前にご連絡をお願いします。なお、その際、ご連絡の日にちにより、次のキャンセル料をご負担いただきます。
- 宿泊や班別研究会などを伴う一部のセミナーについては、下記とは異なるキャンセル料を設定しておりますのでご注意ください。

キャンセル料

- ・セミナー開催日の7営業日前～1営業日前の17:00までのキャンセル：参加費の50%
- ・セミナー開催日の1営業日前の17:00以降のキャンセルまたは事前のご連絡がなかった場合：参加費の100%

* ○営業日前とは、土日祝祭日・日科技連休業日を除いた日数のことです。

テキスト事前送付のセミナーのキャンセルについて

- テキストを事前送付するセミナーで、すでに開催通知、テキストがお手元に届いている場合のキャンセルについて、上記のキャンセル料が発生する場合は、テキスト費用はキャンセル料に含むものといたします（テキスト返却は不要です）。
- キャンセル料が発生しない期間のキャンセルの場合は、お手元に届いているテキストをご返送ください（送料はご負担ください）。なお、テキストに書き込み、折れ、汚れ等がある場合にはテキストの実費をご負担いただきます。

セミナーの振替受講について

- お申込みいただいたセミナーに参加者が受講できず、また、代理の方がいない場合は、年度内に開催される同じセミナーに「振替受講」ができます（複数回開催のセミナーのみ）。
- 「振替受講」は、1度目は無料ですが、2度目以降は通常の参加費に加え、参加費の10%を振替受講手数料として申し受けます。
- 振替受講を希望される場合には、できるだけお早目にセミナー受付に電話、Eメールにてご連絡をお願いします。

(2023年1月現在)

【セミナー申込み・振替・キャンセルに関する連絡先】

日本科学技術連盟 セミナー受付 TEL: 03-5378-1222 E-mail: regist@juse.or.jp

※平日 9:00～17:00 の対応となります。

※現在テレワークの併用を行っております。電話がつかない場合はE-mailでご連絡ください。

※土曜・日曜・祝日および夏季/年末年始休暇などの連絡は受付していません。

「ライブ配信セミナー」参加に関してのお願い

お申込みの期限

ライブ配信セミナーへのお申し込みは開催日の4営業日前までをお願いします。
参加者変更は、セミナー開催の3営業日前までの対応となります。

受講（視聴）環境について

- (1) ライブ配信セミナーをご受講いただくために必要な視聴環境（パソコン等のハードウェア、ブラウザ等のソフトウェア、通信環境等）をご用意ください。必要なシステム環境基準を満たしていない場合、セミナーの受講ができない可能性があります。各コースのセミナー詳細ページ（web サイト）、開催のご案内で詳細をご確認のうえ、予め、ご準備いただくようお願いいたします。また、受講 URL、ID、パスワードの管理は受講者が責任をもって管理してください。
- (2) 開催日の7営業日前までに必ず視聴テストを行ってください。万が一、事前の視聴テストにおいて何等かの理由により視聴ができなかった場合、キャンセル料は頂戴いたしません。

ライブ配信セミナーの受講にあたって

(1) 著作権、商標権、特許権等の知的財産権

受講者は、オンラインライブ配信を通じて提供されるすべての文章、画像、映像、音声、プログラムなどのセミナーコンテンツの著作権などの知的財産権が、当財団に帰属していることを承諾し、これを侵害しないことを誓約するものとします。有償無償問わず、セミナーコンテンツを録画、録音、転載することは法律で禁じられています。

(2) 禁止行為

- 1) 複数名でセミナー動画を視聴すること（動画をプロジェクター等に投影して複数名で視聴することも固くお断りいたします）
- 2) セミナーの動画・コンテンツの一部または全部を当財団に無断で転載すること
- 3) セミナーの動画・コンテンツの一部または全部を当財団に無断で第三者に貸与又は譲渡すること
- 4) セミナーの動画・コンテンツの一部または全部を当財団に無断で改変もしくは要約すること
- 5) 当財団又はセミナー講師、その他の第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為（かかる侵害を直接又は間接に惹起する行為を含みます）
- 6) コンピュータウイルス、その他の有害なコンピュータプログラムを含む情報を送信、インストール、アップロード、その他の方法により使用する行為
- 7) 当財団が許諾する方法以外の方法で、動画・コンテンツをダウンロード、キャプチャー、保存する行為
- 8) セミナーに関するソフトウェア、テキスト、画像、動画、その他コンテンツに対し、複製、修正、翻案する行為
- 9) その他、当財団が不適切と判断する行為

(3) オンラインシステムの運用・中断・停止

当財団は、オンラインシステムを良好な状態でご利用いただくために、事前に受講者に通知することなく、システムの全部または一部を中断することがあります。

- ・定期保守や緊急保守を行う場合
- ・システムに負荷が集中した場合
- ・システムの運営に支障が生じると当財団が判断した場合
- ・受講者のセキュリティを確保する必要性が生じた場合
- ・通信設備の故障、停電などの第三者の責によりオンラインシステムが提供できなくなった場合
- ・天災地変などの不可抗力によりオンラインシステムの提供ができなくなった場合
- ・その他、オンラインシステムの提供ができない事由が発生した場合

本項事由に基づき当財団が行った措置により、受講者に生じた損害についての責任を負いかねます。

(4) 免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、公官庁の指示等、当財団が管理できない事由により、研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当財団では責任を負いかねます。

通信回線、コンピュータの障害によるオンラインシステムの中断、遅滞および中止等により、受講者に生じた障害については、当財団は一切の責任を負わないものとします。

当財団は、オンラインシステムで提供する情報の完全性・正確性を保証いたしません。

JUSE seminar guide 2023

TQM

<https://www.juse.or.jp/>

一般財団法人 日本科学技術連盟

品質経営推進センター 品質経営セミナー担当

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

TEL : 03-5378-1213 E-mail : tqmsemi@juse.or.jp

*本ガイドは日科技連ホームページから PDF をダウンロードできます。